

2022 年度 東京学芸大学数学教育研究会

<日時> 2022 年 6 月 12 日(日) 13:00~17:15

<会場> オンライン (Zoom)

<内容>

- (1) 開会の挨拶 13 : 00~13 : 05
(2) 修士論文・専門学術論文発表予定 (発表 15 分・質疑応答 5 分 計 20 分) 13 : 10~15 : 15

※教職大学院では、「課題研究」の執筆が必須、修士論文に相当する「専門学術論文」の執筆は選択制となっております。

※課題研究の当日発表はございません。その代替として、発表動画を YouTube にて限定公開いたします。動画公開期間や動画の URL については後日ご連絡いたします。

13:10~13:30 石田直輝 (専門学術論文)
中学校数学における図形の論証の教授学習過程に関する研究
— 「A ならば B」を構成する過程に着目して—

13:35~13:55 北脇恭介 (専門学術論文)
数学的問題解決における共變的推論の様相に関する研究
— 比例関係に焦点を当てた調査を通して—

14:00~14:20 菅谷弘之 (専門学術論文)
高等学校における導関数の理解に関する研究
— 生徒のインタビュー調査を通して—

休憩 10 分

14:30~14:50 高柳有矢 (専門学術論文)
関数の多面的な見方を育む教材開発
— 関数族を視点として—

14:55~15:15 本田千春 (修士論文)
不確実性のある事象を幾何学化する教材の開発とその学習指導に関する研究
— 国際バカロレア数学において重視される真正な文脈を視点として—

15:15~15:25 休憩

- (3) 講演 (講演者の紹介及び講演 60 分・質疑応答 15 分 計 75 分) 15 : 25~16 : 40
弘前大学 田中義久先生

- (4) 参加者の方の近況報告 16 : 40~17 : 10

- (5) 閉会の挨拶・諸連絡 17 : 10~17 : 15

17 : 15 終了予定